

海外農業実習レポート

21552067 石山幹大

私は2017年8月24日から9月22日にかけてカナダのアルバータ州に農業実習に行ってきました。

出発日と実習先が決まったのが出発の7日前でさらに出発の2日前に39度の熱が出るという事態に襲われましたが何とかやっていくことができました。

これから、ファームステイ先の農家の様子と収穫した作物の事などを書いていきたいと思っています。

・ファームステイ先の農家の様子

Edie と Bill 夫妻、そして孫娘の Trinity の 3 人と犬 2 匹猫 5 匹ハムスター 1 匹の大家族でした。家はとても大きく、家の中でカフェも経営していて仕事を手伝ったりしていました。

また、私のほかにドイツ人 3 人と韓国人 1 人も来ていてとても賑やかでした。特にドイツ人の Max は 25 歳の好青年で初日に意気投合しそこからの 1 か月間毎晩仕事終わりにダーツをして遊んでいました。彼は私の拙い英語を何度もほかの人に英語で通訳してくれてとても助けてもらいました。今も連絡を取り合っていて春に彼の家に遊びに行く予定です。

何度か WWoofers 側と Edie の衝突はありましたが今までにないとても充実した経験になりました。



・収穫した作物および仕事内容

私は日本でも農家でアルバイトをしています驚くほどたくさんの作物を収穫しました。全部挙げていきます[シーバックソーン・チョークチェリー・サンドチェリー・エヴァンスチェリー・リンゴ・にんにく・トマト・ゴールデンビート・レッドビート・豆類・にんじん・玉ねぎ・コリアンダー・ズッキーニ類・きゅうり・かぼちゃ類・じゃがいも・唐辛子類]などです。類がついてるものはその中で何品目かあったという意味で、唐辛子に関しては5種類もあり驚きました。

日本で働いているときはその品目を一気に収穫するという流れでしたが、カナダではその日の朝に「今日はビートとトマトとにんじんを一つずつ」という指示を Bill から受けてそれを WWoofers が取りに行くという流れでした。なので農家さんとは最初の1日しか一緒

に働いていません。実習に行ったというよりは普通に働きに行ったという感じでした。
いくつか紹介します



これはシーバックソーンというベリーで日本では野生していません。北海道で試験的に栽培されているだけだそうです。とてもすっぱくておいしくはなかったです。

枝を切って冷凍して手で一粒ずつ取っていきます。苦痛の作業でした。



これはズッキーニです。

私が知っているズッキーニはもっと小さいものなのですが、1か月いるうちに大きさに慣れてしまいました。



これは収穫した種類の唐辛子の中の1つのカイエンペッパーです。収穫しながら全種類食べたのですがこの唐辛子は別格でした。信じられないくらい辛かったです。

後日小学生の女の子に丸々1個食べさせられて涙を流しました。

・まとめ

今回の実習はまさか行けるとは思っていなかったのずっとバタバタしててあっという間に過ぎていきました。楽しかったのは間違いないのですが、実習という観点で見ると農家さんと仕事と一緒にいることがないので会話をすることがほとんどなく、直接学んだ事は多くなかったかもしれませんが、新しい友人ができたりダーツの腕がかなり上がったり楽しいこともたくさんあったので、前向きに捉えてこの先の大学生活を楽しんでいこうと思います。